

## 令和7年度一般選抜A個別方式（第2期）出題意図

### 科目名：歴史総合・世界史探究

#### I

前半の設問では、古代オリエント文明の商業や貨幣、ゾロアスター教、さらにアフリカのイスラーム化についての基礎的な知識を、空欄補充形式で問うた。後半の設問では、ミラノ勅令発布からコンスタンツ公会議までのキリスト教に関する出来事についての基礎的な知識を、年表を用いた出題形式で問うた。

#### II

唐王朝滅亡後の五代十国と北宋の成立および政治経済的状況の基礎的知識を問うた。また北宋と契丹(キタイ)や金との関係および契丹(キタイ)・金の国内的状況、さらには周辺の西夏、大理、ベトナムの状況の基礎的知識も問うた。10世紀頃から12世紀頃の東アジアについて、全体的に理解がなされているかを問うた。

#### III

西アジア・中央アジアの近代に関する基礎的知識を問う問題だった。特にオスマン帝国の近代およびエジプトや西欧列強との関係の基礎的知識、また周辺であるワッハーブ王国やイラン、アフガニスタン、中央アジア各国の近代の基礎的知識について、空間的な理解がなされているかを問うた。

#### IV

第一次世界大戦後から第二次世界大戦終結時に至るまでの内容の長文を題材として、現代史の基礎的知識の理解度を問う問題である。時代は両大戦間期から二十世紀半ばに至るまでを対象としており、「世界史探究」だけでなく「歴史総合」の内容を含め理解できているかを問うている。